

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和4年6月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.53)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



輝け広尾っ子：応援メッセージの紹介

3年ぶりに開催されたつつじ祭り、感性予防の対策がなされている中で盛大に行われる事で、楽しみにして見に行きました。祭りのオープニングは、勇壮な広尾陣屋太鼓の演奏からスタートしたのですが、よく見るとメンバーに小学生らしき子どもも数人見受けられました。話を聞くと小学校の授業で陣屋太鼓の演奏体験があって、その後加入したということなのだそうです。友達と遊んだりしたい盛り子ども達が、家で過ごす時間を割いて陣屋太鼓の練習に励んでいることを嬉しく思いました。聴いている人の体の奥まで響き渡る太鼓の勇ましい音色を感じながら、広尾の貴重な文化が受け継がれていく、そんな瞬間を見ることができ幸せだったつつじ祭りの一コマでした。がんばれ、太鼓の伝承者たち。

（町内 40代 男性 5月30日受取）

広尾小学校の第1回学校運営協議会開催

6月2日に第1回広尾小学校運営協議会が開催されました。議事「学校運営への意見」では、コロナ禍におけるリモート授業への対応や保護者の参画意識の変化、少年団の指導者確保等の意見や質問があり、学校からの説明で共通理解を図りました。



また、熟議では教育環境を生かした取組について意見交換をしました。広尾小の子どもたちにとって、よりよい活動や学習ができないかについて多くの意見が交流されましたので紹介いたします。

〈熟議：教育環境を生かした取組〉

- ・家族会議を大切にする
- ・お手伝いの役割づくりを継続する
- ・自然をいかした野外活動の機会を増やす
- ・地域住民を交えた子ども向けのワークショップの開催
- ・お年寄りと話す機会づくり
- ・デスクトップミュージックの作成
- ・広尾町を調べて紹介する授業で発表映像を町民に見てもらう
- ・朝ごはんを毎日食べる習慣づくり
- ・漁業の「今」について学ぶ
- ・子どもと遊ぶ思い出を沢山つくる



*上記の意見を踏まえ、具体的に取り組む内容を次回の学校運営協議会で決定します。

広尾高等学校の第1回学校運営協議会開催

6月9日に広尾高校の第1回学校運営協議会が行われました。会議では、現在の教育活動の状況について「各種検定の合格率が上昇していること」、「今年度より学習ツールスタディサプリを導入したこと」、「挨拶や他者との協働を通して、コミュニケーション力を高めようとしていること」、「進路指導が計画的に進められていること」等の説明がありました。



また、熟議では重点教育目標「コミュニケーション力を高める」を受け、地域環境や教育資源をどう活用したらよいかについて意見交換を行いましたので、その主な内容を紹介します。

《熟議：コミュニケーション力を高めるためにできること》

・広尾は人とのかかわりをつくりやすい ・いろいろな産業があるので活用してはどうか ・生徒が地域とかかわる機会を計画的につくる ・町の歴史を学ぶこと ・異世代でのかかわりに参加する ・祖父母の力を活用する ・高校生の活躍の場をつくる



*第2回の学校運営協議会は、9月29日に開催される予定になっています。

豊似小の「放課後居場所づくり」より

今年度も豊似小学校で放課後居場所づくりの取組が、パオバブ（包場部）の活動として地域の大人の方々の協力により行われています。6月の活動内容は、外遊び、ゲーム、虫さがしとなっており、子どもたちが元気よく野外活動を楽しんでいます。

10日（金）の活動では、子どもたち（低学年）が「ゴム跳び」に挑戦しました。一人一人が工夫した跳び方を披露してくれて、みんなから拍手が贈られました。



このような活動を通して、地域の大人とのかかわりが深くなり、子どもたちが地域を知ることまた、地域が子どもたちを知ることにつながることでしょう。

* * * * *